

第10回 信州環境 ECO コンテスト

テーマ「おもてなしの家の空間 ～信州コンパクト住宅～」

審査結果

一般社団法人 長野県建築士会

青年・女性委員会

平成29年12月16日(土)

第10回 信州環境ECOコンテスト

長野県内の建築士を志す学生等対象

テーマ『おもてなしの家 ～信州コンパクト住宅～』

あなた自身のアイデアで信州らしい住宅を提案してみませんか？

ECO

信州環境

コンテスト

第10回



■ 提出・問い合わせ先 ■

一般社団法人 長野県建築士会
〒380-0872 長野市大字南長野字宮東 426-1
TEL 026-235-0561 FAX:026-2588
<http://nagano-kenchikushikai.org>
E-mail:n-shikai@avis.ne.jp

- 主催 ・ 一般社団法人 長野県建築士会（主管：青年・女性員会）
- 後援（予定） ・ 長野県、長野県教育委員会、長野県木材協同組合連合会、信州木材認証製品センター
- 応募資格 ・ 長野県内の建築士を志す学生等（グループ、個人を問いません。）
- 応募期間 ・ 平成 29 年 10 月 10 日（火）から平成 29 年 10 月 31 日（火）まで（当日消印有効）
- 質疑応答 ・ 応募要項にないものは応募者の判断によるものとし、質疑応答は行わない。
- ◇ 1 次審査 ・ 平成 29 年 11 月上旬に通過者・各校に書面にて審査結果を通知。
- ◇ 2 次審査 ・ 平成 29 年 12 月 16 日（土）、「第 10 回信州環境ECOコンテスト」（会場 長野市 ホテルメルパルク長野）において、プレゼンテーションを行い選考します。

■ コンテスト趣旨 ■

私たちが暮らす信州は全国有数の豊かな自然に恵まれ、暮らしてみたい都道府県として毎年多くの移住者を迎えています。大自然を背景にゆったりと流れる時間を求める人々。地域コミュニティに溶け込み新たな故郷を求める人々。子育てに適した環境を求める人々。ここに移り住む人々はその価値を知り、信州を移住先としています。しかし、実際に信州で暮らす私たちはどこまで自分たちが住む地域の良さを知っているのでしょうか。そこで、当前となっている身近な環境を見つめ直し、信州で暮らす意義を考え、信州の素晴らしさを感じてもらいたいと思います。また、学生の皆様と私たちがコンテストを通じて親睦を深めることで建築士を身近に感じてもらい、将来、建築士を目指す方々の一助となる事を願い、本コンテストを企画します。

第10回 信州環境ECOコンテスト

テーマ:『おもてなしの家 ~信州コンパクト住宅~』

コンテスト趣旨

私たちが暮らす信州は全国有数の豊かな自然に恵まれ、暮らしてみたい都道府県として毎年多くの移住者を迎えています。大自然を背景にゆったりと流れる時間を求める人々。地域コミュニティに溶け込み新たな故郷を求める人々。子育てに適した環境を求める人々。ここに移り住む人々はその価値を知り、信州を移住先としています。しかし、実際に信州で暮らす私たちはどこまで自分たちが住む地域の良さを知っているでしょうか。そこで、当たり前となっている身近な環境を見つめ直し、信州で暮らす意義を考え、信州の素晴らしさを感じてもらいたいと思います。また、学生の皆様と私たちがコンテストを通じて親睦を深めることで建築士を身近に感じてもらい、将来、建築士を目指す方々の一助となる事を願い、本コンテストを企画します。

テーマ:『おもてなしの家 ~信州コンパクト住宅~』の提案

全国に向けて発信したい「私のまち」らしい「おもてなしの家」を提案してください。「おもてなしの家」は県外からの移住者や都会と信州の二地域居住をする者が生活をする家です。サイズは小さな土地でも建設ができるコンパクトな規模(15坪【約50㎡】程度)とします。第7・8・9回のコンテストではトイレや浴室、趣味の部屋などに信州らしさを備えた提案を課題としてきました。今回はその集大成として住宅・住居・家を題材とした提案を求めます。エコロジー(物を大切にすること)の観点から新たに地域の個性を発見し、信州の素晴らしさを伝え感じてもらう為、あなた自身のアイデアで、あなたが住む地域の環境や慣習、都会や県外では触れられない信州らしさが感じられる提案を求めます。建設場所は、あなたの住む街です。「おもてなしの家」に居住する方の年齢・人数・性別等に制限はありません。

- 主催 ・一般社団法人 長野県建築士会 (主管:青年・女性委員会)
- 後援(予定) ・長野県、長野県教育委員会、長野県木材協同組合連合会、信州木材認証製品センター
- 応募資格 ・長野県内の建築士を志す学生等(グループ、個人を問いません。)
- 応募期間 ・平成29年10月10日(火)から平成29年10月31日(火)まで(消印有効)
- 質疑応答 ・応募要項にないものは応募者の判断によるものとし、質疑応答は行わない。
- 提案条件 ・「おもてなしの家」とし、「おもてなしの心」を盛り込んで提案して下さい。
 - ・「信州らしい」「信州ならでは」といったあなたが住む街の特色や特性が表現され、地域資源の活用、環境への配慮、物を大切にすること、Eco(エコロジー)“また”循環可能”の要素が盛り込まれていることを望みます。
 - ・あなたが思う「おもてなしの家」に居住者(移住者)がより豊かに暮らせるような提案を行ってください。
 - 例1)リビングで野菜の栽培を試みたり、その野菜を余すことなく料理できる設備の整ったキッチン
 - 例2)おばあちゃんの知恵袋(民間療法)の薬草の入った浴室や草花を消臭剤かわりに利用したトイレ
 - 例3)信州ならではの空いっぱいの星空のみえる玄関や自然にとけ込むかのようなガラスばりの階段
 - 例4)伝統、風習を満喫するための井戸端会議が出来るテラスや土間も利用した部屋
 - 例5)信州らしい農林水産資源の活用や循環エネルギーを利用した部屋
 - 例6)思い切り趣味に没頭できる部屋(趣味などの内容は具体的に示す事)
 - 例7)自家栽培をした食べものを美味しく保管できる空間
 - 例8)地域の伝統的建築様式を取り込んだ空間構成
- 提出物 ・A3用紙 2枚以内とし、可能な限りカラーによる提案とすること。
 - ・仕上方法は自由とし、提案の趣旨や内容がわかりやすく伝わるように表現すること。
- 提出方法 ・郵送又は主催者事務局(下記住所)へ持込とすること。
 - ・応募者の氏名等は応募シートに従って内容を記入し、応募作品の裏面・右下に貼付すること。
(※応募シートは当会ホームページよりダウンロードが可能です。)
 - ・提出作品が2枚に渡る場合は、応募シートを2枚それぞれに貼付すること。
 - ・同一学校より複数応募の際はまとめて郵送すること。
 - ・一旦提出いただいた応募作品および応募シートに記載された内容は、審査段階での変更は認められません。
- 審査方法 ・1次審査により数作品を選定。2次審査を行い、同日に入賞発表及び授賞式を行います。
 - ◆1次審査 平成29年11月上旬に通過者・各校に書面にて審査結果を通知。
 - ◆2次審査 平成29年12月16日(土)、『第10回信州環境ECOコンテスト』(長野市 ホテルメルパルク長野)において、プレゼンテーションを行なっていただき、選考します。
- 審査員 ・長野県建設部、長野県工業高校長会長、(一社)長野県建築士会 会長、同青年・女性委員長 等
- 表彰 ・最優秀賞・優秀賞・他
- 結果発表 ・2次審査会にて入賞発表、及び(一社)長野県建築士会ホームページに掲載。
- その他 ・応募作品は、当会主催『第10回信州環境ECOコンテスト』(長野市 ホテルメルパルク長野)において、会場に展示します。
 - ・ご不明な点がありましたら事務局まで、お問い合わせください。
 - ・応募作品は、特別な理由を除いては、返却ができません。
 - ・応募作品に関する一切の権利は、主催者側に帰属します。

■ 提出先・問い合わせ先 ■

一般社団法人 長野県建築士会

〒380-0872 長野市大字南長野字宮東426-1 電話:026-235-0561
http://nagano-kenchikushikai.org E-mail: n-shikai@avis.ne.jp

第10回 信州環境E C Oコンテスト 審査表

テーマ：『おもてなしの家の空間 ～信州コンパクト住宅～』の提案

平成29年12月16日 メルパレく長野

【ecology】本来の意味は生態学。
自然環境を保護し、人間の生活との共存を
目指すという考え方。

審査員名

(1～5までの数字をご記入ください)

	審査項目	配点比率	配点	満点	No-01	No-02	No-03	No-04	No-05	No-06	No-07	No-08	No-09	No-10	No-11	No-12	No-13	No-14	No-15
①	信州らしさ・県産材の提案はあるか	× 5	1 2 3 4 5	25															
②	ECO (環境に良い) の提案があるか	× 5	1 2 3 4 5	25															
③	コンセプトは明確であるか	× 4	1 2 3 4 5	20															
④	オリジナリティー、発想力、着眼力	× 4	1 2 3 4 5	20															
⑤	実現性	× 2	1 2 3 4 5	10															
計				100															
<<総合評価>> プレゼンテーションも含め総合的に判断し 最優秀賞と思われるものに◎ (10点) 優秀賞と思われるものに○ (5点) を、それぞれ1作品 ご選択下さい				◎															
				○															
合計																			

<<最優秀校評価>>

当コンテストに貢献したと思われる学校1校を評価し、○をご選択下さい。

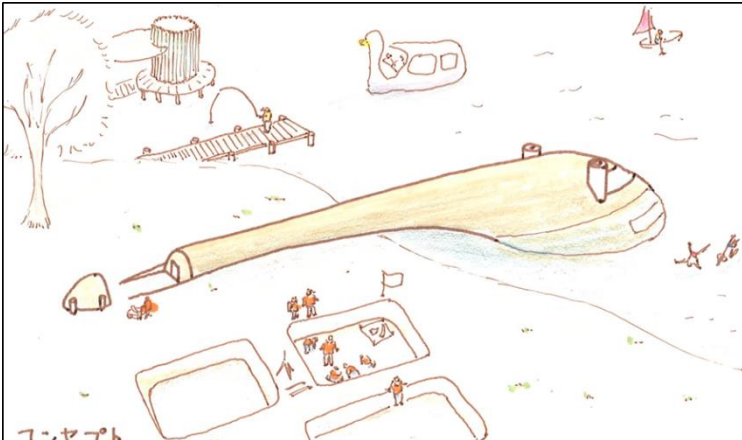
学校名										
丸子修学館高等学校	長野工業高等専門学校	長野工業高等学校	佐久平総合技術高等学校	飯田OIDE長姫高等学校	屋代南高等学校	長野県松本技術専門学校	池田工業高等学校	上田千曲高等学校	中野立志館高等学校	
応募数	23	41	97	15	80	22	9	29	3	16

平成29年度
第10回 信州環境ECOコンテスト 最終審査結果

最終結果	タイトル	氏名(イニシャル表記のみ)	所属	学科
最優秀賞	ナウマンゾウHOUSE	R.N	長野県長野工業高等学校	建築科
優秀賞	EGOCOツリーハウス	H.W S.K	長野県松本技術専門校	建築科
優秀賞	自然の臨場感をそのままに～	R.I	長野県池田工業高等学校	建築科
奨励賞	咲く家	S.K	長野県長野工業高等学校	建築科
奨励賞	信州ミュージアムハウス	A.M	長野工業高等専門学校	環境都市工学科
審査員特別賞	わっしょい！～運べる家～	S.M	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科
審査員特別賞	Green Pot House	K.K	長野県長野工業高等学校	建築科
入賞	鳩時計をimageしたペンション 外観からのおもてなし	Y.M	長野県長野工業高等学校	建築科
入賞	自然のおもてなし	A.U	長野県佐久平総合技術高等学校	創造実践科
入賞	雪の冷気を循環する家	H.K	長野県中野立志館高等学校	総合学科
入賞	自然あふれる家	T.F	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科
入賞	DOME HOUSE	M.N	長野県丸子修学館高等学校	総合学科
入賞	自然を身近に	H.K	長野県屋代南高等学校	ライフデザイン科
入賞	萱葺きの家～真田の郷でおもてなし～	K.K	長野県上田千曲高等学校	建築科
入賞	まるがたハウス	K.S	長野県丸子修学館高等学校	総合学科

最優秀校賞	応募学校名	応募作品数
	長野県丸子修学館高等学校	23
	長野工業高等専門学校	41
○	長野県長野工業高等学校	97
	長野県佐久平総合技術高等学校	15
	長野県飯田OIDE長姫高等学校	80
	長野県屋代南高等学校	22
	長野県松本技術専門校	9
	長野県池田工業高等学校	29
	長野県上田千曲高等学校	3
	長野県中野立志館高等学校	16
	合計	335

(順不同)



コンセプト

野尻湖畔の旅館のご主人である加藤忠助氏が、ナウマンゾウの白骨を発見したことが、発掘調査の先駆けとなった。1962年から、これまで20回の発掘が行われ、第17回までの発掘で約22,800人が参加し、約67,000点の化石遺物が発見された。ナウマンゾウHOUSEは調査研究のシンボルとして提案する。隣接する野尻湖博物館は、全国の人達に、ナウマンゾウを、そして、信濃町を発信する施設だ。私も重要視したのは考古学者だ。研究の場を提供することで発掘活動を盛んにし、40万年前の歴史を語り継いでいくことを約束する。また、地域活性化を目指す。

研究者に適した家づくり



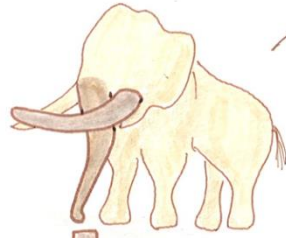
年齢 48歳
 独身
 性別 男
 趣味 骨魚、水の研究
 アウトドアスポーツ
 (ボート、四輪バギー)



私は、研究者のための研究者の家に住みたい。
 野尻湖からは、必ず新たな発見がある!(絵は想像です。)



△断面イメージ

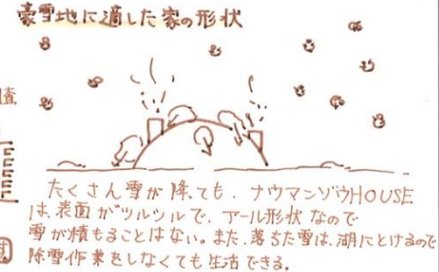
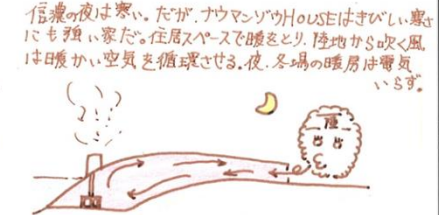
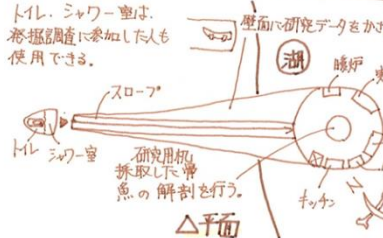
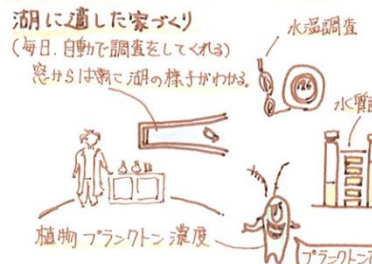
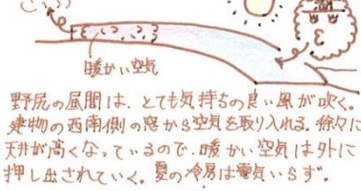
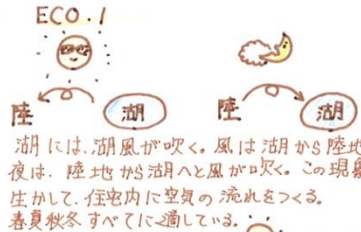


ナウマンゾウHOUSE



ダイアグラム

信濃町といえば野尻湖。野尻湖といえばナウマンゾウ。ナウマンゾウの牙は、力強く立派である。私は、信州S11。信濃町らしさを全面に押し出すことで、地域活性化を目指す。ナウマンゾウHOUSEは、研究者を旧石器時代へ誘うだろう。



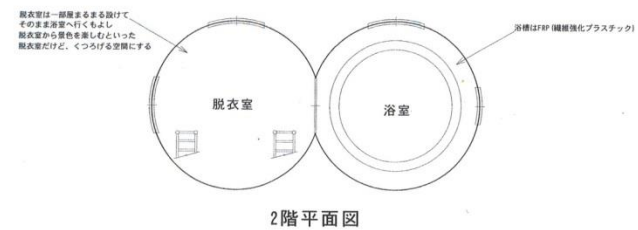
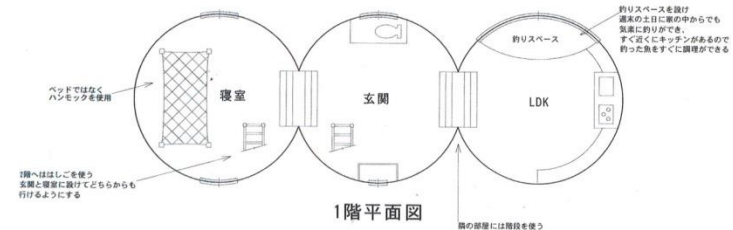
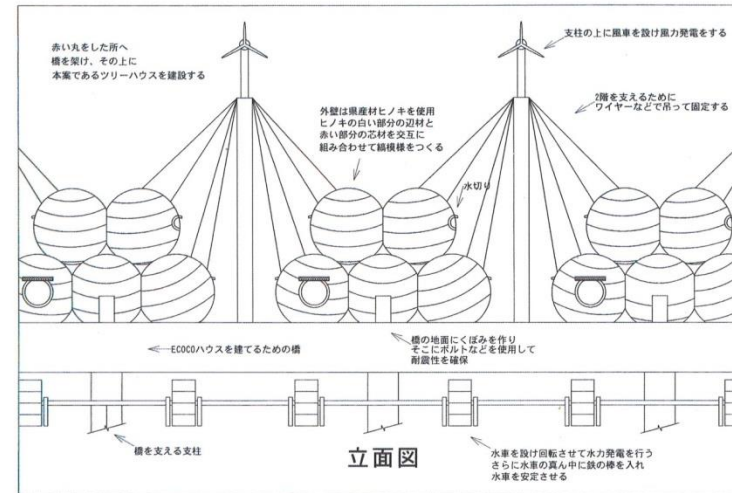
「ECOCO ツリーハウス」

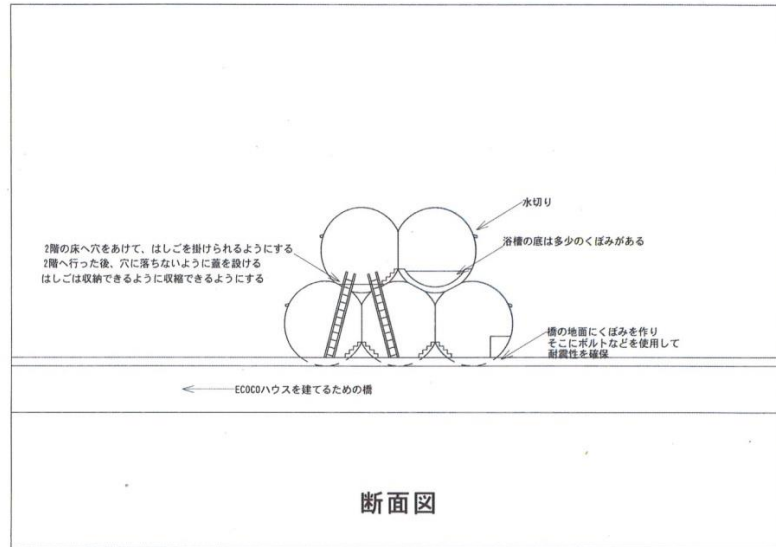
ツリーハウスと言っても木にはない
でも、木みたいで、木で出来ている

ツリーハウスだから、

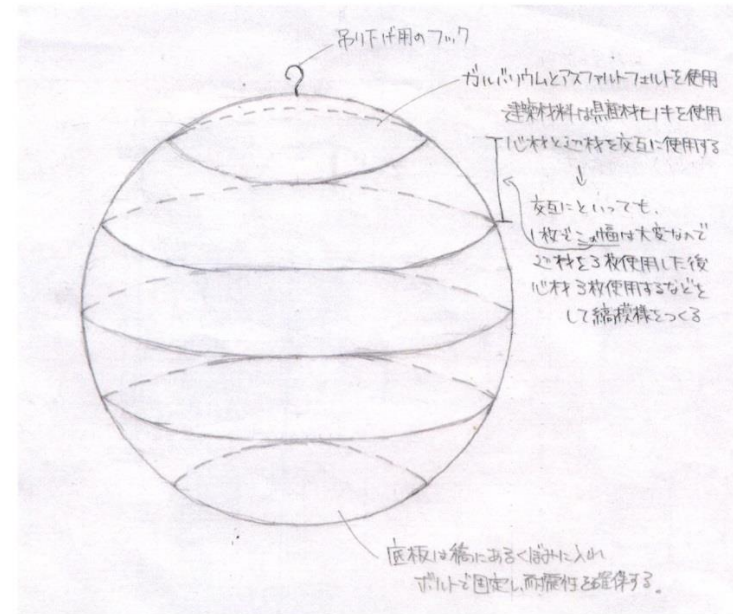
「吊って」いて、「釣り」も出来る

この諏訪湖に出来た
不思議な建物は
一体何なのか・・・？





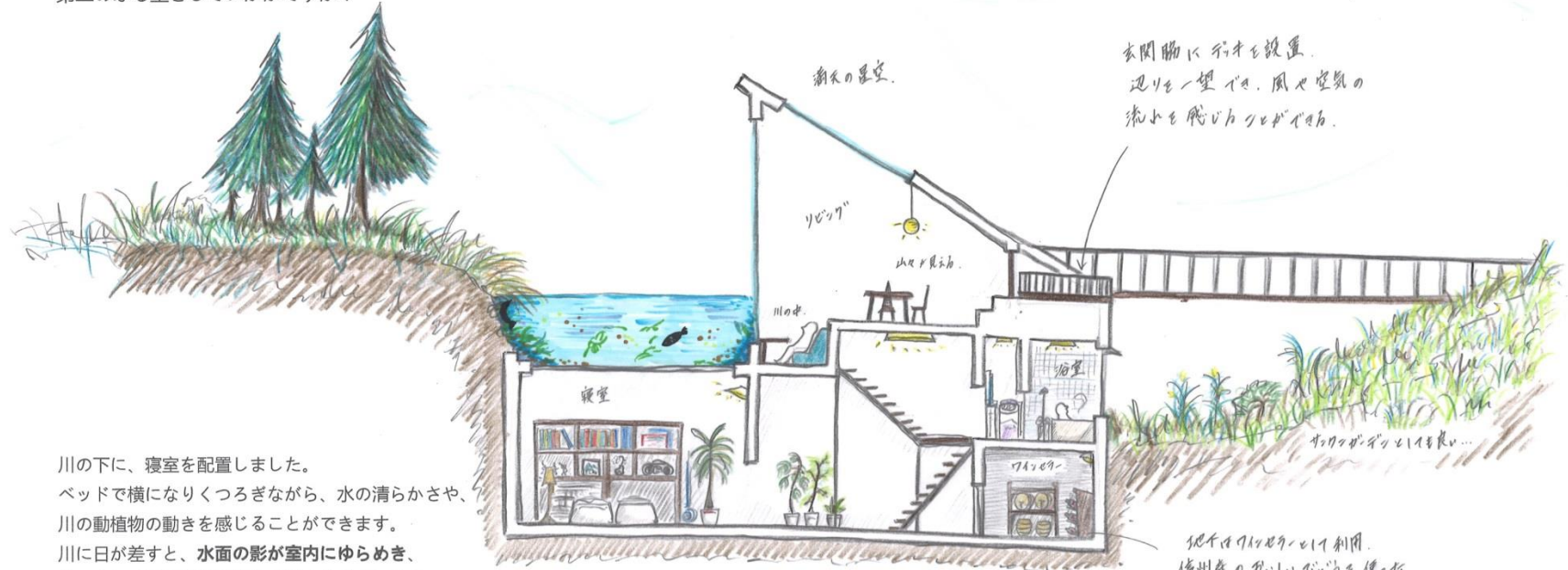
一棟 50㎡、一部屋 10㎡ (全5部屋)
 県産材 ヒノキ 浴槽素材 FRP
 外壁は、ヒノキの心材と辺材を交互に使用する
 浴槽は、FRP (繊維強化プラスチック) を使用する
 自然エネルギーを利用し、水力発電と風力発電を使用する



- 壁パーツは集成材で製作
- 組積造と同じ施工要領で、それぞれのパーツをボルトで繋ぎ合わせ、球体を形成する
- ガルバニウム板は「ウロコ張り」にして、魚のイメージを持たせると丸い魚のように見えて面白い

自然の臨場感をそのままに～

澄んだ水、青々と茂る木々、
空を舞う小鳥のさえずりや、虫時雨...
物語の様な「自然」を感じる事のできる地、信州。
そんな自然の豊かさ、地域の温もりであなたをおもてなしたい。
第二のふる里としていかがですか？



川の下に、寝室を配置しました。
ベッドで横になりくつろぎながら、水の清らかさや、
川の動植物の動きを感じることができます。
川に日が差すと、水面の影が室内にゆらめき、
夜になれば月光が幻想的な空間を作り出します。

1階はくつろぎの場、リビングです。
部屋からの眺めを変えるために、上下二段にしました。
下段でソファに座れば、流れる川の中が見え、
上段では、悠然とそびえる北アルプスの山々の姿をゆったりと眺めることができます。

玄関脇にバルコニーを設置。
辺りを一望でき、風や空気の
流しを眺むのがイイ。

地元のキッチンレイアウト利用。
信州産のいい食材を上手に
活用... いかがですか？

裏口からは、川岸に出ることが可能です。
山々から湧き出る雪解け水は、洗濯物、皿洗い等に利用でき、水の節約につながります。
夏の暑い時期には、川を通る涼やかな風が天然クーラーとしての役割を果たし、
地元でとれた新鮮な野菜を冷やしておいて...。なんてことも出来るため、電気や環境に配慮できます。